



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

マイナンバーカード取得促進にご協力を

皆さまはマイナンバーカードを作成されましたか。私は仕事柄、制度創設後すぐに取得し、住民票などの取得にはコンビニエンスストアの端末機を使っています（窓口より手数料が100円安くなります）。スマートフォンでカードを読み取り、自宅から確定申告ができるのも便利です。

現在、国はさまざまな手続きのデジタル化を急速に進めようとしています。その基盤となるのがマイナンバーカードです。制度導入時には、個人情報流出のリスクなどの懸念が言い広められたこともありましたが、使用方法の明確化や誤解の解消により、安全面への理解は進んできました。

今後は、付帯機能の活用や用途の拡大により、デジタル社会の実現を進める段階に入ります。そのためには、基本的にすべての人がカードを取得することが重要です。公的な身分証明（運転免許証と同等）、各種証明書のコンビニ交付や確定申告からスタートして、現在では、健康保険証、処方された薬剤情報の閲覧、新型コロナワクチンの接種証明書の取得など、次々に用途が拡大されています。将来的には転入手続きのワンストップ化や、運転免許証

としても活用される予定です。

本市では、カードの取得拡大のため、市役所での特設ブース設置のほか、商業施設、ワクチン接種会場などでの出張受付で積極的に申請をお願いしてきた結果、5月末時点での交付率は50.9%に伸びています。また、現在、カードを取得した方（9月末までにカードの交付申請をした方）が最大2万円相当のポイントもらえるキャンペーンが実施されています。詳しくは、今月の広報12頁をご覧ください。こうした特典もPRしながら、さらに多くの方にカードを取得いただけるよう案内していきます。ご質問などがあれば、市役所本館1階の特設ブースで職員がお答えさせていただきますので、お気軽にお声がけください。

なお、デジタル化の取り組みとして、本市では窓口で戸籍や納税証明書などを取得した際の手数料などのお支払いにキャッシュレス決済を導入しています。小銭のやりとりの手間もなく、感染症予防にも役立ちます。

デジタル化は、時に高齢者のうちスマートフォンなどの操作が得意でない方に敬遠されがちですが、自宅で手続きができたり、職員の事務負担が軽減された余力をさまざまな不便を解消するお手伝いに充てることができたりするなど、むしろ高齢社会に向けた一面もあります。デジタル活用による地域社会の向上を推進するカギがマイナンバーカードです。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

感染症対策にご協力をお願いします

- ・3密を避け、人と接する場合はマスクを着用する
- ・手洗いや手指の消毒を励行する
- ・室内や移動の車内などでは換気を十分に行う

「子育て支援ハンドブック」2022年度版を発行



「子育て支援ハンドブック」支援策などをまとめて掲載

南あわじ市の子育てに関する情報・サービス・問合せ先などを1冊にまとめた「子育て支援ハンドブック」2022年度版を作成しました。国や県、市独自の子育て支援事業を「妊娠がわかったら」「赤ちゃんが生まれたら」「乳幼児の子育て支援」など、各ライフステージと

に分かりやすくまとめています。巻末には家族でお出かけできる市内の公共施設を掲載した「おでかけマップ」がついています。市役所や各市民交流センター、図書館などの公共施設、市内ショッピングセンターなどに設置していますので、ご自由にお持ち帰りください。市ホームページからご覧いただけます。



油圧ショベルで木材をつかむ受講者



災害時の資機材活用へ市職員・消防団員が操作研修

防災資機材として配備した油圧ショベルを活用できるように、5月16日と17日の両日、南あわじ市職員や消防団員ら21人が油圧ショベルの操作講習を受けました。南あわじ市はB&G財団（東京都）の助成を受け、昨年度から防災資機材の配備や研修に取り組んでいます。油圧ショベルは障害物の除去などに活用することを

想定しています。両日の講習は、淡路労働基準協会が市内で開催したもの。受講した市職員・消防団員は、昨年度に走行方法や土砂などをすくう「バケット」の操作講習を受けており、今回は物をつかむ「フォーク」の操作などを学びました。講習初日は座学で、2日目を実技。実技では受講者が油圧ショベルを慎重に操作。碎けないように木材をつかんで移動させたり、上に積み重ねたりしました。

「吉備国際大学からのお知らせ」  
トライやる・ウィークで大学の授業・仕事を体験

5月にトライやる・ウィークが実施され、2校の中学生が大学の授業・仕事を体験しました。大学生と同じ授業に出席し、専門的な内容でしたが90分間の講義を体感。印象に残っていることをそれぞれまとめてくれました。また、フィールド実習では米作り体験として、大学生とともに育苗箱へ肥料を入れる作業を頑張って



行ってくれました。吉備国際大学農学部がどのような研究・授業をしているのかを実際に経験してもらうことで、少しでも大学のイメージをつかんでもらえたらと感じました。農業が盛んな南あわじ市で、農学部として今後も教育分野での連携・協力を継続できればと思います。

公開講座のお知らせ

7月3日（日）、10日（日）にオンラインで公開講座を実施します。講座の詳細は「大学ホームページ→Project/Program→公開講座」をご覧ください。※要申込・参加費無料（今年度はおもしろポイントの付与はありません）  
◆申込み・問合せ先 吉備国際大学庶務課  
☎ 0866-22-7404（平日午前9時～午後5時）  
✉ kiu-syomu@office.jei.ac.jp

ウクライナ人道危機  
救援金のお礼

5月末まで市役所本館1階ロビーおよび各市民交流センターに、ウクライナ人道危機救援金の募金箱を設置したところ、総額221,343円の救援金が寄せられました。皆さまのご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。寄せられた救援金は、日本赤十字社を通じて、ウクライナでの救援活動に活用させていただきます。

受賞おめでとうございます

兵庫県功労者表彰

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 自治功労    | 小島 一 さん（元南あわじ市議会議員）         |
| 地域活動功労  | 木田 薫 さん（ソーシャルデザインセンター淡路理事長） |
| 産業振興功労  | 井上 幸治 さん（淡路瓦工業組合副理事長）       |
| 農林水産功労  | 本田 雅保 さん（元兵庫県果樹研究会理事）       |
|         | 橋本 昌和 さん（南淡漁業協同組合代表理事組合長）   |
| まちづくり功労 | 社家 薫 さん（兵庫県建築士事務所協会常任理事）    |

兵庫県社会教育委員表彰

- 伊達久美子 さん（南あわじ市社会教育委員副委員長）  
松坂 壽仁 さん（南あわじ市社会教育委員）

